
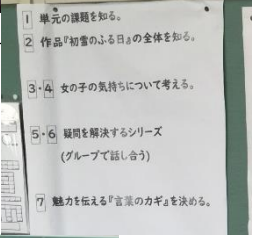
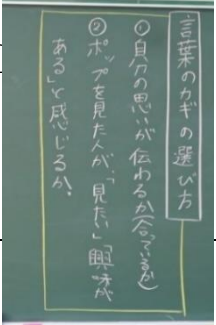





〈 授 業 記 録 〉

教師の発問・児童の反応	学習の様子
<p><b>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（14：10）</b></p> <p>T：前は何を学習しましたか。                  S：「魅力を伝えるポップ」を作るために、自分の思いを見付けました。                  T：では、今日はどんな学習をするか確認しましょう。                  S：自分の思いの根拠となる「言葉のカギ」を一つに決めます。</p> <p style="background-color: #f4a460; padding: 5px; border: 1px solid black;">〈めあて〉自分の思いが一番伝わる「言葉のカギ」を決める。</p> <p>T：皆さんは、ポップを見た人にどうしてほしいですか。                  S：この話を読みたくてほしい。                  S：話に興味をもってほしい。                  T：では、本を読みたくてほしいには、<u>どんな「言葉のカギ」が良いのでしょうか。</u>                  S：ポップを見た人に、自分の言いたいことが伝わるカギ。                  T：「<u>言いたいこと</u>」とは、何ですか。                  S：作品の魅力。 S：伝えたい自分の思い。                  T：ポップで伝えるものは「思い」と「カギ」だけでいいですか。                  S：なぜその思いにしたか、説明したいな。 S：理由も必要！                  T：そうですね。<u>理由も考えながら、言葉のカギを決めましょう。</u></p>	  
<p><b>2 伝えたい自分の思いと、それを象徴すると思える叙述（言葉のカギ）をグループで伝え合う。（14：20）</b></p> <p>T：友達と相談しながら言葉のカギを一つに決めていきましょう。「こっこのカギがいい」だけでなく、自分が選んだ理由を必ず説明しましょう。                  S1：私は、伝えたいことが「不思議」と「ほっとする」の二つあるのだけど…                  S2：どっちのほうが、伝えたいと思うの。                  S1：選ぶのが難しいな。                  （デジタル教科書のマイ黒板を確認しながら）                  S2：私も「ほっとする」と「不思議」で迷ってるよ。うさぎは他の人には見えないはずなのに、おばあさんが知っていたから、そこが不思議だよ。うさぎのことは、誰か他の人に聞いたのかな。                  （グループに先生が回ってくる）                  S1：先生、伝えたいことが二つあって…                  T：伝えたい二つは、どんなことですか。                  S1：「ほっとする」と「不思議」のどちらにするか悩んでいて、どちらも伝えたい。合わせることも難しいし。                  T：<u>どちらのほうが、より伝えたいと思いますか。</u>                  S1：うーん。「不思議」の方です。                  T：そうか。<u>不思議を伝える言葉のカギはどの部分を選んだのですか。</u>                  S1：「このとき、一人の年よりが言いました。『この子は、きっと白うさぎにさらわれそうになったのだ。』と。」というところです。                  S2：このお年寄りもうさぎのことを知っていたことは不思議だよ。                  S1：さらわれた子がいることを何で知っていたのかな。                  S2：でも、他の人は「顔を見合わせて、とても信じられないと言いました。」と書いてあるから、うさぎのことを知らなかったみたい。                  S1：もしかして、このお年寄りも昔うさぎにさらわれたのかな。                  S2：私もその可能性が高いと思う。私も「ほっとする」より「不思議」のほうが良いように思えてきたよ。</p>	  

### 3 伝えたい自分の思いを一番象徴する叙述を決め、理由も明らかにする。

(14:35)

T: 「ごんぎつね」の学習でもポップを作ったよね。みんなの見本になるように、先生がポップを作ったときもカギを決めるのに迷ったんだよね。「うれしい気持ちにも、切ない気持ちにもなる物語」という思いを伝えるのに、「ごん、おまいだったのか」と「ぐったりと目をつぶったままうなずきました」の二つのカギで迷っていたけれど、先生はどうやって決めたと思う。

S: 二つのカギを、合わせたのかな。

S: 後のカギでは「切なさ」はあるけれど、「うれしい気持ち」がないよ。

S: ああー、たしかにそうだね。

T: 先生もカギを一つに絞る時、言葉のカギを比べてみて、自分の伝えたい思いがしっかり伝わるのはどちらか考えました。

では、一番伝わる言葉のカギを一つに決めます。選んだ理由も書いておいてください。

S1: 「この子は、きっと白うさぎにさらわれそうになったのだ。」が良いと思ったけど、ポップを読んだ人に伝わるかな・・・。

S2: 四人で話し合ってみようよ。

(前の二人組にも声をかけてる)

S1: 私は、最後に出てくるお年寄りや女の子のおばあちゃんがおうさぎのことを知っていた「不思議」を伝えたい。だから、お年寄りのせりふを、カギにしたらいいと考えているの。カギを「この子は、きっと白うさぎにさらわれそうになったのだ。」にしたけど、不思議な様子が伝わるかな。

S3: 伝わると思うよ。なぜ知っているのか、不思議だよな。

S1: もし、女の子のおばあちゃんの方だったら、言葉のカギを「うさぎといっしょに世界の果てまでとんでいって、最後には小さい雪のかたまりになってしまうんだから。」にしようと思うけど、どうかな。

S2: そっちも、いいね。

(グループに先生が回ってくる)

T: 一つに決まりましたか。

S1: 今度は、言葉のカギが二つあって、迷っています。

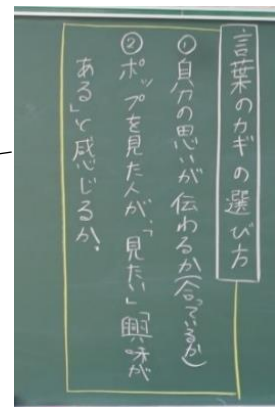
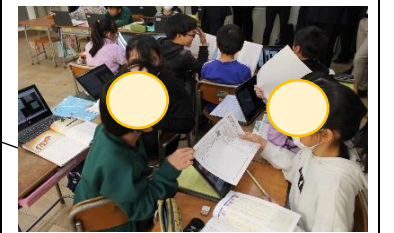
T: 黒板に書いてある「言葉のカギの選び方」を確認してみよう。二つのことが入っているかな。

S1: 女の子のおばあちゃんのほうがいいのか。おばあちゃんのほうが重要人物だと思います。

T: どうしておばあちゃんが、重要人物だと思うの。

S1: おばあちゃんのほうが女の子に近い存在だし、たくさん出てくるから、おばあちゃんのほうがいいかなあとと思います。

T: なるほど、そう決めたんだね。その理由を、メモに書いておくといいよ。



### 4 本時の学習内容の振り返りをする。(14:50)

T: 振り返りをしましょう。今日のめあては、「自分の思いが一番伝わる言葉のカギを決める」でした。振り返りには、カギを決めるときに悩んだことや、どうやってカギを決めたのかを書き残しておきましょう。

〈振り返り〉

私の伝えたい思いは「不思議」で、言葉のカギは、おばあちゃんの言った「最後には小さな雪のかたまりになってしまうんだから」に決めました。おばあちゃんがなげうさぎのことを知っていたのか、不思議に思ったからです。友達と疑問を話していたときにも不思議だと言ってくれたので、みんなも読みたくなると思いました。

